

甲府市学校施設長寿命化計画について



甲府市公共施設等総合管理計画 【2016（平成28）年3月策定】

公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することを目的としている。



甲府市公共施設再配置計画 【2019（令和元）年7月策定】

公共施設等マネジメントを推進していくための道標となる個別計画



甲府市学校施設長寿命化計画 【2021（令和3）年3月策定】

教育委員会が所管する学校施設等を対象として、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的としている。

対象施設：小学校25校、中学校11校、甲府商業高校、商科専門学校

我が国の公立学校施設は、第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建設されたが、それらの建物が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せている。

また、事象が起きてから対処する「事後保全型」の対応ではなく、不具合の発生を未然に防ぐ「予防保全型」の管理への転換が求められている。

甲府市公共施設等総合管理計画においても、学校教育系施設は、公共施設の約4割（39.1%）を占めており、学校施設の老朽化対策は、先送りのできない重要な課題である。

各地方公共団体は、総合管理計画に基づき、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として、個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）を策定することとなっている。

このうち、特に、教育委員会が所管する学校施設等を対象として、基本的な方針に基づく実際の整備内容や時期、費用等を表す計画が「学校施設長寿命化計画」である。

学校施設長寿命化計画策定の主な目的は、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することである。

【市の背景】

校舎及び屋内運動場の耐震化については、平成16年度に策定した「甲府市学校施設耐震化整備計画」に基づき整備を行い、平成23年度を以って事業が完了している。

改修等については、平成25年度に策定した「甲府市学校施設老朽化リニューアル計画」に基づき整備を行っている。

「学校施設長寿命化計画」は、「学校施設老朽化リニューアル計画」を踏まえた計画とする。

文部科学省のこれまでの取組

計画策定を促進するための支援策

「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」の作成
(平成27年4月)

平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」において令和2年度までに個別施設毎の長寿命化計画の策定が求められたことを踏まえ、長寿命化計画に盛り込むべき事項、記載事例、留意事項等を整理した手引を作成。

「学校施設の個別施設計画策定支援事業」の実施
(平成27年度～29年度)

全国の地方公共団体のモデルとなる学校施設の個別施設計画策定に係るモデル事業を実施し、策定実績の積み上げ。

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の作成
(平成29年3月)

手引に基づき、学校施設の長寿命化計画の標準的な様式を示すとともに、より具体的に留意点等を解説した解説書を作成。解説書付属のエクセルソフトの活用により、計画の対象となる建物情報の整理や維持更新コストの試算が可能。

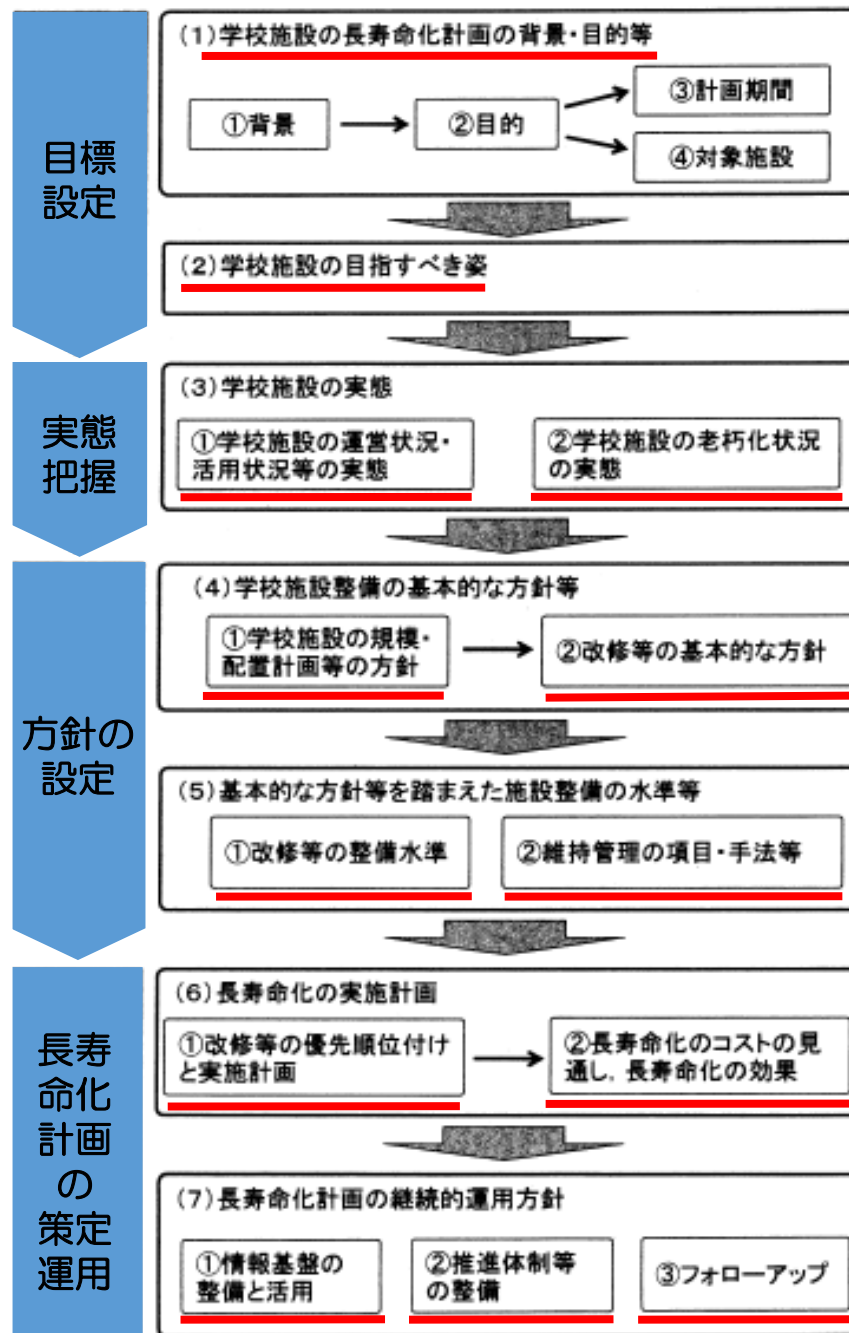
「解説書の講習会」等による策定に関する説明
(平成29年度～)

解説書を用いて計画策定の進め方を解説するとともに、地方公共団体の事例を紹介する講習会を全国主要都市で開催。

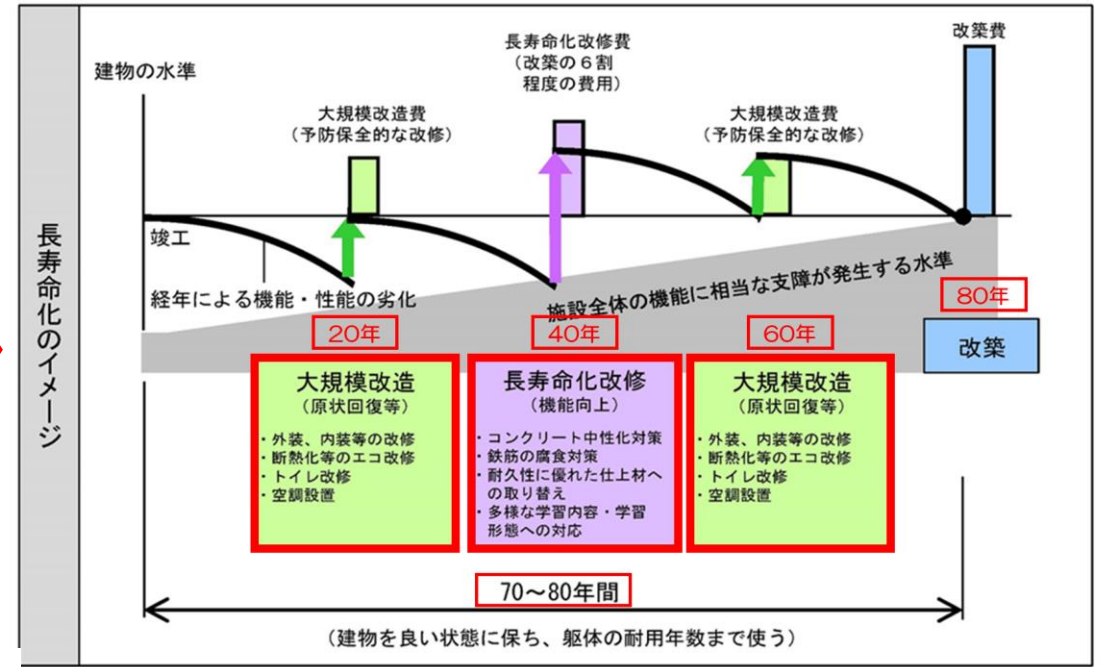
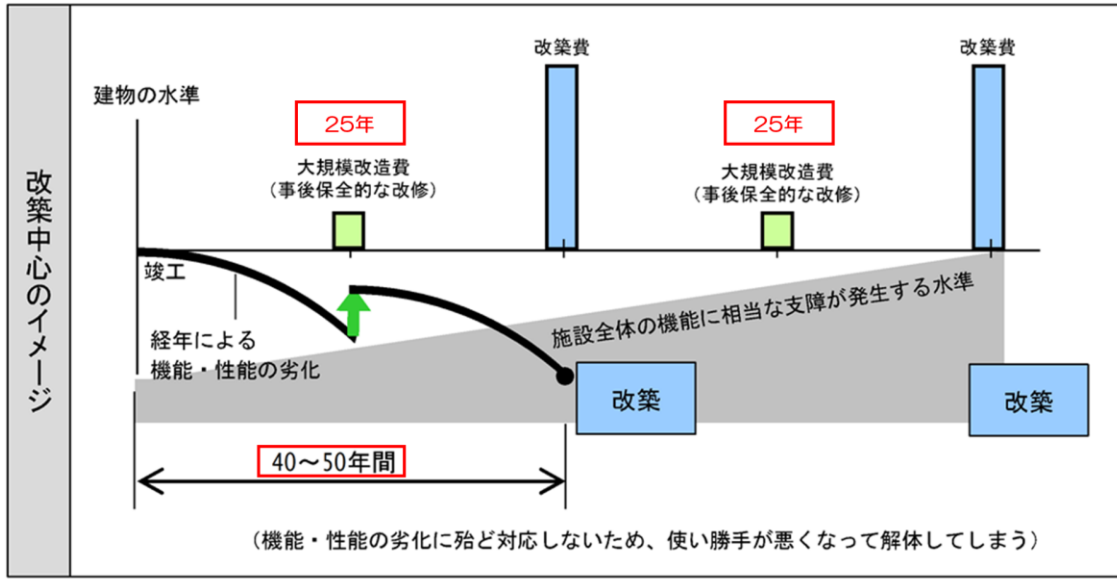
「個別施設計画策定取組事例集」の作成
(平成31年3月)

文部科学省が作成した手引等を活用しつつ限られた予算内の中で計画を策定した事例や、専門業者の知見を活用しながら事務職員が中心となって計画を策定した事例等について、計画策定にあたっての体制づくりやスケジュール等を紹介。

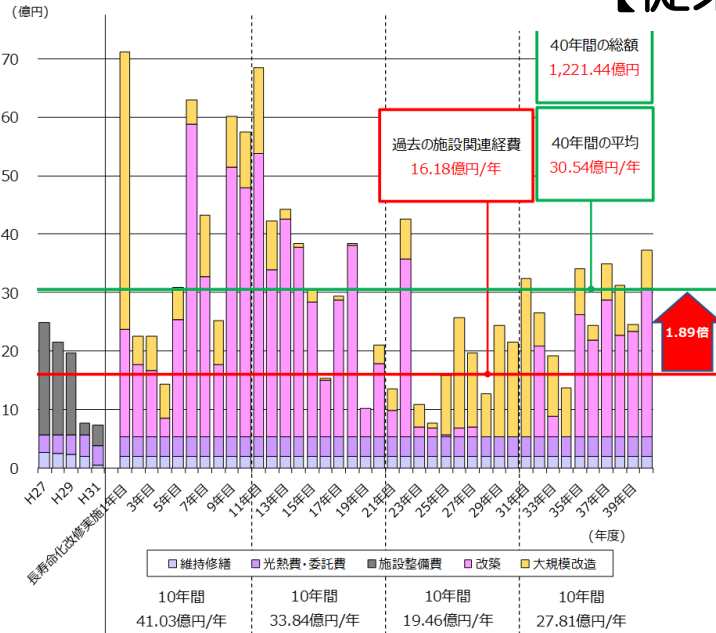
▶【学校施設の長寿命化計画の構成】



令和元年度に
老朽化状況等の調査実施



【従来型】



約4.3億円/年の縮減が見込める

【長寿命化 平準化型】

